

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年1月31日から2021年4月8日までです。	
運用方針	欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／ブラジルリアル買いの為替取引を行う、「ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネーパールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。	
主要運用対象	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）	ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円） CAマネーパールファンド（適格機関投資家専用）
	ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I4シェアクラス、円）	欧州のハイイールド債
	CAマネーパールファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。原則として外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月8日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

アムンディ・欧州
 ハイ・イールド債券ファンド
 （ブラジルリアルコース）

運用報告書（全体版）
 第16作成期

第88期	（決算日 2018年5月8日）
第89期	（決算日 2018年6月8日）
第90期	（決算日 2018年7月9日）
第91期	（決算日 2018年8月8日）
第92期	（決算日 2018年9月10日）
第93期	（決算日 2018年10月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、作成期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

お客様サポートライン 0120-202-900（フリーダイヤル）

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

■最近5作成期の運用実績

	決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	騰 落 率			投 資 信 託 組 入 証 券 率	投 資 証 券 組 入 比 率	純資産総額
			税 分	込 配	み 金			
第12作成期		円		円	%	%	%	百万円
	64期 (2016年5月9日)	3,238		40	4.8	0.1	98.3	64,210
	65期 (2016年6月8日)	3,352		40	4.8	0.1	98.5	65,626
	66期 (2016年7月8日)	3,225		40	△ 2.6	0.1	98.3	61,794
	67期 (2016年8月8日)	3,469		40	8.8	0.1	98.4	64,975
	68期 (2016年9月8日)	3,501		40	2.1	0.1	98.4	63,707
第13作成期	69期 (2016年10月11日)	3,511		40	1.4	0.1	98.3	62,791
	70期 (2016年11月8日)	3,559		40	2.5	0.1	98.4	62,666
	71期 (2016年12月8日)	3,634		40	3.2	0.1	98.4	62,158
	72期 (2017年1月10日)	4,015		40	11.6	0.1	98.0	66,398
	73期 (2017年2月8日)	3,947		40	△ 0.7	0.1	98.4	62,020
	74期 (2017年3月8日)	4,044		40	3.5	0.1	98.4	61,374
第14作成期	75期 (2017年4月10日)	3,907		40	△ 2.4	0.1	98.4	57,543
	76期 (2017年5月8日)	3,948		40	2.1	0.1	98.4	56,640
	77期 (2017年6月8日)	3,738		40	△ 4.3	0.1	98.3	51,973
	78期 (2017年7月10日)	3,830		40	3.5	0.1	98.4	52,200
	79期 (2017年8月8日)	3,964		40	4.5	0.1	98.4	52,907
	80期 (2017年9月8日)	3,900		40	△ 0.6	0.1	98.4	51,004
第15作成期	81期 (2017年10月10日)	3,943		40	2.1	0.1	98.2	50,360
	82期 (2017年11月8日)	3,892		40	△ 0.3	0.1	98.4	49,014
	83期 (2017年12月8日)	3,776		40	△ 2.0	0.1	98.3	46,737
	84期 (2018年1月9日)	3,861		40	3.3	0.1	98.4	47,517
	85期 (2018年2月8日)	3,655		40	△ 4.3	0.2	98.3	44,099
	86期 (2018年3月8日)	3,528		40	△ 2.4	0.2	98.4	41,905
第16作成期	87期 (2018年4月9日)	3,394		40	△ 2.7	0.2	98.3	39,759
	88期 (2018年5月8日)	3,276		40	△ 2.3	0.2	98.6	37,318
	89期 (2018年6月8日)	2,943		40	△ 8.9	0.2	91.1	32,306
	90期 (2018年7月9日)	2,893		40	△ 0.3	0.2	95.8	31,154
	91期 (2018年8月8日)	3,081		40	7.9	0.2	97.3	32,748
	92期 (2018年9月10日)	2,776		40	△ 8.6	0.2	97.8	28,841
	93期 (2018年10月9日)	3,036		40	10.8	0.2	97.5	31,017

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

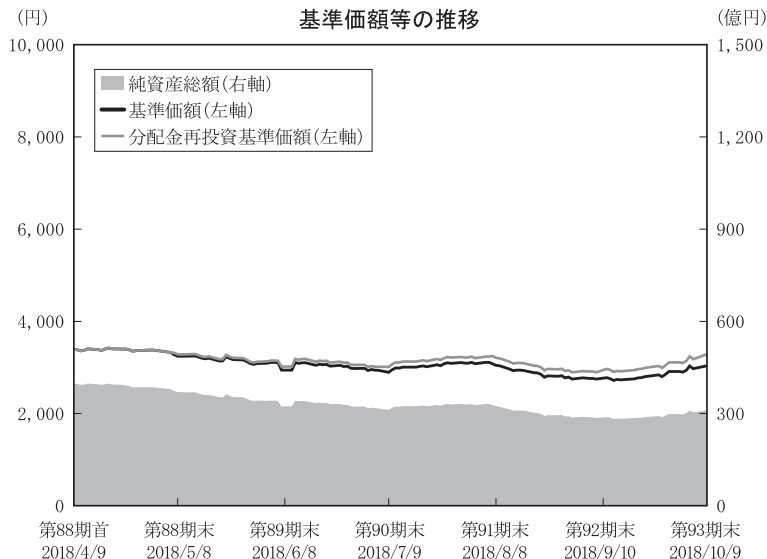
■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基準価額	騰 落 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
第88期	(期 首)2018年4月9日	円 3,394	% —	% 0.2	% 98.3
	4月末	3,366	△ 0.8	0.2	98.4
	(期 末)2018年5月8日	3,316	△ 2.3	0.2	98.6
第89期	(期 首)2018年5月8日	3,276	—	0.2	98.6
	5月末	3,069	△ 6.3	0.2	92.7
	(期 末)2018年6月8日	2,983	△ 8.9	0.2	91.1
第90期	(期 首)2018年6月8日	2,943	—	0.2	91.1
	6月末	2,975	1.1	0.2	95.3
	(期 末)2018年7月9日	2,933	△ 0.3	0.2	95.8
第91期	(期 首)2018年7月9日	2,893	—	0.2	95.8
	7月末	3,091	6.8	0.2	97.2
	(期 末)2018年8月8日	3,121	7.9	0.2	97.3
第92期	(期 首)2018年8月8日	3,081	—	0.2	97.3
	8月末	2,746	△10.9	0.2	98.0
	(期 末)2018年9月10日	2,816	△ 8.6	0.2	97.8
第93期	(期 首)2018年9月10日	2,776	—	0.2	97.8
	9月末	2,910	4.8	0.2	97.6
	(期 末)2018年10月9日	3,076	10.8	0.2	97.5

(注) 期末基準価額は当該期の分配金込み、騰落率は各期首比です。

【基準価額等の推移】

第88期首	3,394円
第93期末	3,036円
既払分配金 (税込み)	240円
騰落率	△3.1% (分配金再投資ベース)



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2018年4月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

下落要因

- ①2018年5月に、欧州周縁国で金利が上昇（国債価格は下落）したこと
- ②5月以降、米中を中心とした貿易をめぐる軋轢（あつれき）が投資家心理に悪影響を与えたこと
- ③6月に、ECB（欧州中央銀行）が量的緩和縮小を決定したこと
- ④為替市場において、当作成期はブラジルリアル安・円高となったこと

上昇要因

- ①ハイイールド債ならではの相対的に高い利息収入を得たこと
- ②当作成期中のハイイールド債の新規発行が例年と比べて低水準にとどまったため、市場需給が良好だったこと
- ③2018年5月に、欧州中核国で金利が低下（国債価格は上昇）したこと
- ④ユーロ売り／ブラジルリアル買いの為替取引により、プレミアム（金利差相当分の収益）を得たこと

【投資環境】

<欧州ハイイールド債券市場>

当作成期の欧州ハイイールド債市場は、前作成期末比で小幅に上昇しました。スプレッド（国債との利回り格差）が拡大したことはマイナスとなったものの、相対的に高い利息収入などがこれを穴埋めしました。当作成期中、欧州の経済成長は減速しましたが、依然として潜在成長率を上回っています。これが欧州企業の堅調なファンダメンタルズ（基礎的条件）と相まって、先行き不透明感が高まる環境の中でも欧州ハイイールド債を下支えしました。企業のファンダメンタルズの改善としては、限定的な財務レバレッジ（負債比率）、過去の水準に比べて低いデフォルト（債務不履行）率などが挙げられます。一方、イタリアやスペインをめぐる政治的不透明感や米国とその貿易相手との緊張の高まりは、欧州ハイイールド債券に打撃を与えました。特に、CCC格債は最もマイナスの影響を受けました。それまでは利回りを追求する投資適格債の投資家からの資金流入があり、こうしたテクニカルなサポート要因から恩恵を受けていましたが、「質への逃避」の動きに伴ってスプレッドが拡大しました。

<為替市場>

当作成期初31円台で始まったブラジルリアル/円相場は、米国の保護主義的な通商政策に対する懸念や、米国の金利上昇で新興国から投資資金が流出しやすい環境が続く中、下落基調となりました。アルゼンチンペソ急落で、経済関係の強いブラジルへの影響が懸念されたことや、政局不安、米中貿易摩擦の激化、さらにはトルコリラの急落の影響も加わりブラジルリアル下落に拍車をかけました。しかし、8月に高等選挙裁判所がルラ氏の大統領選立候補を認めないと決定したことで、新政権への期待からブラジルリアルは反発に転じました。右派政党ボルソナロ候補の優位が鮮明になるにつれ、政治リスクの後退でブラジルリアルはそれまでの下げ幅を縮小し、30円近辺で当作成期末を迎えました。

<日本の短期国債市場>

当作成期の短期国債市場では、利回りのマイナス幅が大幅に拡大しました。日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.15%近辺の水準で始まりました。7月末の日銀の金融政策決定会合を控えた短期的な需要から利回りのマイナス幅は拡大し、会合直後には-0.19%までマイナス幅が拡大しました。当作成期末にかけては、海外投資家によるTDBへの買い需要が高まったことから利回りは急低下し、-0.33%近辺で当作成期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

<当ファンド>

当ファンドは、欧州のハイイールド債を実質的な主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当作成期においては、主要投資対象とする「ストラクチャー欧州ハイ・イールド・ボンド」について、欧州証券市場監督局（ESMA）の新規制に対応する同様の投資信託「ストラクチャー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル」に入替えるため、当ファンドの投資信託約款を変更（2018年5月）した後、従来の「ストラクチャー欧州ハイ・イールド・ボンド（I4シェアクラス、ブラジルリアル）」から、「ストラクチャー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I4シェアクラス、円）」に順次入替え、高位に組み入れました。なお、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

＜ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I 4 シェアクラス、円）＞^{※1}

当ファンドは、2018年5月31日の設定日以降、従来の「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド」^{※2}と同様のポートフォリオを構築して運用を行いました。

当作成期は低格付債がアンダーパフォームする状況の中、Nyrstar、Newlook、CMAといったB格未満のいくつかの発行体に対する投資比率を低めとしました。当作成期末におけるポートフォリオのベータ値（市場変動に対する価格感応度）は、1程度（市場変動とおおむね同様の水準）としています。

（アムンディ アセットマネジメント）

実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／ブラジルリアル買いの為替取引を行い、当作成期を通じてブラジルリアルのエクスポージャーをおおむね100%に維持しました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

※1 「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I 4 シェアクラス、円）」は、「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル」にて運用が行われています。為替取引も「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル」にて行われています。

※2 投資先ファンドを入替える前の「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド（I 4 シェアクラス、ブラジルリアル）」は、「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンド」にて他のクラスと合同運用が行われていました。

＜CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）＞

当作成期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（各期の分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

＜当ファンド＞

当ファンドが投資する「ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I 4 シェアクラス、円）」の組入比率を引き続き高位に保ちます。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜ストラクチャラー欧州ハイ・イールド・ボンドーブラジルリアル（I 4 シェアクラス、円）＞

地政学的状況、とりわけ貿易をめぐる緊張の高まりは引き続き、マクロ経済環境に関する不透明感の源泉となっていますが、ECB（欧州中央銀行）は2019年夏まで金利を低水準に維持すると言明しています。景気指標は、経済が安定し依然として潜在成長力を上回っていることを示唆しています。インフレ率は2%とECBの目標に一致しており、コア・インフレ率は1%で安定しています。テクニカル面でも、欧州ハイイールド債券ファンドへの資金流入に安定性が増しています。大半のユーロ建債券の利回りが2%を下回る状況の中、3%台後半の利回り水準にある欧州ハイイールド債は依然魅力的であり、この資産クラスに対して強気な見方を維持しています。個別銘柄選択を重視しつつ、分散投資や流動性に配慮した運用を継続する方針です。

（アムンディ アセットマネジメント）

今後もファンドの基本方針に従い、引き続き実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／ブラジルリアル買いの為替取引を継続いたします。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

＜CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）＞

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第88期～第93期 (2018年4月10日 ～2018年10月9日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	17円 (5) (11) (0)	0.547% (0.152) (0.379) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0) (0)	0.007 (0.005) (0.002) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	17	0.554	

期中の平均基準価額は3,026円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2018年4月10日から2018年10月9日まで）

投資信託受益証券、投資証券

決 算 期		第 88 期 ～ 第 93 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
			千円		千円
外 国	(ルクセンブルク) ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド- ブラジルリアル (I4シェアクラス、円)	3,149,467	31,677,219	120,000	1,114,550
	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (I4シェアクラス、ブラジルリアル)	—	—	12,350,000	35,389,270

- (注1) 金額は受渡し代金です。
(注2) 単位未満は切捨てです。

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

■利害関係人との取引状況等（2018年4月10日から2018年10月9日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2018年10月9日現在）

(1) 国内（邦貨建）投資信託受益証券

銘	柄	第15作成期末 (第87期末)	第16作成期末 (第93期末)	
		口数	口数	評価額
		口	口	千円
CAマネーブルファンド（適格機関投資家専用）		67,957,323	67,957,323	68,337
合計	口数・金額	67,957,323	67,957,323	68,337
	銘柄数<比率>	1	1	<0.2%>

(注1) <>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国（邦貨建）投資証券

銘	柄	第15作成期末 (第87期末)	第16作成期末 (第93期末)	
		口数	口数	評価額
		口	口	千円
(ルクセンブルク)				
ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル (I4シェアクラス、円)		—	3,029,467	30,228,027
ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (I4シェアクラス、ブラジルリアル)		12,350,000	—	—
合計	口数・金額	12,350,000	3,029,467	30,228,027
	銘柄数<比率>	1	1	<97.5%>

(注1) 口数の小数点以下は切り捨てです。

(注2) —印は組入れなしです。

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

■投資信託財産の構成（2018年10月9日現在）

項 目	第 16 作 成 期 末 (第 93 期 末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	68,337	0.2
投 資 証 券	30,228,027	96.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,195,346	3.8
投 資 信 託 財 産 総 額	31,491,710	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2018年5月8日)	(2018年6月8日)	(2018年7月9日)	(2018年8月8日)	(2018年9月10日)	(2018年10月9日)現在
項 目	第 88 期 末	第 89 期 末	第 90 期 末	第 91 期 末	第 92 期 末	第 93 期 末
(A) 資 産	37,864,472,889円	32,841,368,621円	31,712,245,419円	33,254,640,997円	29,351,755,678円	31,491,710,493円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,013,901,027	3,311,675,279	1,799,546,322	1,307,385,868	1,065,865,301	1,098,145,485
投資信託受益証券(評価額)	68,371,862	68,365,066	68,344,679	68,344,679	68,337,884	68,337,884
投資証券(評価額)	36,782,200,000	29,429,018,276	29,844,354,418	31,878,910,450	28,217,552,493	30,228,027,124
未 収 入 金	-	-	-	-	-	97,200,000
そ の 他 未 収 収 益	-	32,310,000	-	-	-	-
(B) 負 債	545,973,483	534,393,888	557,639,076	506,099,081	510,502,206	474,372,571
未 払 収 益 分 配 金	455,623,784	439,139,128	430,771,276	425,234,339	415,548,031	408,727,607
未 払 解 約 金	56,074,832	61,484,615	95,270,415	50,041,613	63,384,973	38,236,414
未 払 信 託 報 酬	33,862,040	32,943,270	30,391,657	29,248,817	29,613,246	25,332,295
未 払 利 息	2,861	9,345	4,683	3,653	2,861	3,159
そ の 他 未 払 費 用	409,966	817,530	1,201,045	1,570,659	1,953,095	2,073,096
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	37,318,499,406	32,306,974,733	31,154,606,343	32,748,541,916	28,841,253,472	31,017,337,922
元 本	113,905,946,163	109,784,782,153	107,692,819,065	106,308,584,804	103,887,007,805	102,181,901,902
次 期 繰 越 損 益 金	△ 76,587,446,757	△ 77,477,807,420	△ 76,538,212,722	△ 73,560,042,888	△ 75,045,754,333	△ 71,164,563,980
(D) 受 益 権 総 口 数	113,905,946,163口	109,784,782,153口	107,692,819,065口	106,308,584,804口	103,887,007,805口	102,181,901,902口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,276円	2,943円	2,893円	3,081円	2,776円	3,036円

(注記事項)

作成期首元本額	117,142,940,040円
作成期中追加設定元本額	3,840,261,705円
作成期中一部解約元本額	18,801,299,843円

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

■損益の状況

第88期 自2018年4月10日 至2018年5月8日 第91期 自2018年7月10日 至2018年8月8日
 第89期 自2018年5月9日 至2018年6月8日 第92期 自2018年8月9日 至2018年9月10日
 第90期 自2018年6月9日 至2018年7月9日 第93期 自2018年9月11日 至2018年10月9日

項 目	第 88 期	第 89 期	第 90 期	第 91 期	第 92 期	第 93 期
(A) 配 当 等 收 益	480,245,142円	465,959,199円	438,591,745円	438,966,764円	434,707,558円	425,296,509円
受 取 配 当 金	480,278,340	433,820,419	438,726,071	439,042,971	434,753,427	425,350,198
そ の 他 収 益 金	-	32,284,980	-	-	-	-
支 払 利 息	△ 33,198	△ 146,200	△ 134,326	△ 76,207	△ 45,869	△ 53,689
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,333,495,505	△ 3,655,353,487	△ 519,572,867	2,001,652,740	△ 3,138,980,237	2,657,408,962
売 買 益	7,908,751	49,129,857	1,778,988	2,034,506,954	59,868,600	2,666,963,833
売 買 損	△ 1,341,404,256	△ 3,704,483,344	△ 521,351,855	△ 32,854,214	△ 3,198,848,837	△ 9,554,871
(C) 信 託 報 酬 等	△ 34,305,900	△ 33,389,080	△ 30,797,228	△ 29,705,756	△ 30,027,588	△ 25,476,847
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 887,556,263	△ 3,222,783,368	△ 111,778,350	2,410,913,748	△ 2,734,300,267	3,057,228,624
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△21,061,528,051	△21,528,500,541	△24,456,915,799	△24,488,610,330	△21,828,237,048	△24,470,727,299
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△54,182,738,659	△52,287,384,383	△51,538,747,297	△51,057,111,967	△50,067,668,987	△49,342,337,698
(配 当 等 相 当 額)	(12,670,204,812)	(12,215,656,552)	(11,995,672,163)	(11,851,670,777)	(11,590,294,414)	(11,404,576,554)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△66,852,943,471)	(△64,503,040,935)	(△63,534,419,460)	(△62,908,782,744)	(△61,657,963,401)	(△60,746,914,252)
(G) 計 (D+E+F)	△76,131,822,973	△77,038,668,292	△76,107,441,446	△73,134,808,549	△74,630,206,302	△70,755,836,373
(H) 収 益 分 配 金	△ 455,623,784	△ 439,139,128	△ 430,771,276	△ 425,234,339	△ 415,548,031	△ 408,727,607
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△76,587,446,757	△77,477,807,420	△76,538,212,722	△73,560,042,888	△75,045,754,333	△71,164,563,980
追 加 信 託 差 損 益 金	△54,182,738,659	△52,287,384,383	△51,538,747,297	△51,057,111,967	△50,067,668,987	△49,342,337,698
(配 当 等 相 当 額)	(12,670,204,812)	(12,215,656,552)	(11,995,672,163)	(11,851,670,777)	(11,590,294,414)	(11,404,576,554)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△66,852,943,471)	(△64,503,040,935)	(△63,534,419,460)	(△62,908,782,744)	(△61,657,963,401)	(△60,746,914,252)
分 配 準 備 積 立 金	1,320,961,306	1,264,017,416	1,204,745,571	1,188,789,509	1,142,975,558	1,133,167,691
繰 越 損 益 金	△23,725,669,404	△26,454,440,453	△26,204,210,996	△23,691,720,430	△26,121,060,904	△22,955,393,973

(注1) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

第88期計算期間末における費用控除後の配当等収益（445,939,242円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（12,670,204,812円）および分配準備積立金（1,330,645,848円）より分配対象収益は14,446,789,902円（10,000口当たり1,268円）であり、うち455,623,784円（10,000口当たり40円）を分配金額としております。

第89期計算期間末における費用控除後の配当等収益（432,570,119円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（12,215,656,552円）および分配準備積立金（1,270,586,425円）より分配対象収益は13,918,813,096円（10,000口当たり1,267円）であり、うち439,139,128円（10,000口当たり40円）を分配金額としております。

第90期計算期間末における費用控除後の配当等収益（407,794,517円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（11,995,672,163円）および分配準備積立金（1,227,722,330円）より分配対象収益は13,631,189,010円（10,000口当たり1,265円）であり、うち430,771,276円（10,000口当たり40円）を分配金額としております。

第91期計算期間末における費用控除後の配当等収益（433,622,698円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（11,851,670,777円）および分配準備積立金（1,180,401,150円）より分配対象収益は13,465,694,625円（10,000口当たり1,266円）であり、うち425,234,339円（10,000口当たり40円）を分配金額としております。

第92期計算期間末における費用控除後の配当等収益（404,679,970円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（11,590,294,414円）および分配準備積立金（1,153,843,619円）より分配対象収益は13,148,818,003円（10,000口当たり1,265円）であり、うち415,548,031円（10,000口当たり40円）を分配金額としております。

第93期計算期間末における費用控除後の配当等収益（421,780,704円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（11,404,576,554円）および分配準備積立金（1,120,114,594円）より分配対象収益は12,946,471,852円（10,000口当たり1,266円）であり、うち408,727,607円（10,000口当たり40円）を分配金額としております。

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド（ブラジルリアルコース）

■分配金のお知らせ

決 算 期	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
1 万口当たりの分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	40円	40円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お取り扱い分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかさった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	(2018年4月10日 ～2018年5月8日)	(2018年5月9日 ～2018年6月8日)	(2018年6月9日 ～2018年7月9日)	(2018年7月10日 ～2018年8月8日)	(2018年8月9日 ～2018年9月10日)	(2018年9月11日 ～2018年10月9日)
当期分配金	40	40	40	40	40	40
（対基準価額比率）	(1.206%)	(1.341%)	(1.364%)	(1.282%)	(1.420%)	(1.300%)
当期の収益	39	39	37	40	38	40
当期の収益以外	0	0	2	—	1	—
翌期繰越分配対象額	1,228	1,227	1,225	1,226	1,225	1,226

（注1）「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

（注2）「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

《お知らせ》

- ・当ファンドは、主要投資対象とする「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド」について、欧州証券市場監督局（ESMA）の新規制に対応する同様の投資信託「ストラクチャラ－欧州ハイ・イールド・ボンド－ブラジルリアル」に入替えるため、2018年4月9日現在の受益者の皆さまを対象に書面決議を行いました。その結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成を得られましたので、2018年5月30日を適用日として投資信託約款に所要の変更を行いました。

ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル

< 1. 補足情報 >

「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル（I 4 シェアクラス、円）」は、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル」にて運用が行われています。

つきましては、2018年10月8日現在における「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル」の補足情報を記載しております。

なお、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド-ブラジルリアル」は2018年5月31日に設定されましたが、決算日が毎年12月31日のため初回決算（2018年12月31日）を迎えておりません。そのため、当該運用報告書作成期に開示できる決算情報はございません。

■有価証券明細（評価額上位30銘柄）（2018年10月8日現在）

銘柄		利率(%)	通貨	額面金額	日本円換算評価額	償還年月日
ドイツ	THYSSENKRUPP 1.375 17-22 03/03A	1.375	EUR	2,300,000	300,649,633	2022/3/3
フランス	PEUGEOT SA 2 18-25 20/03A	2	EUR	2,300,000	299,601,991	2025/3/20
イギリス	TESCO EMTN 6.125 09-22 24/02A	6.125	GBP	1,800,000	298,226,015	2022/2/24
イタリア	INTESA SAN PAOLO 6.625 13-23 13/09A	6.625	EUR	1,960,000	290,533,061	2023/9/13
イギリス	INTER GAME TECH REGS 4.75 15-23 15/02S	4.75	EUR	2,060,000	289,075,859	2023/2/15
ルクセンブルク	FIAT FINANCE TRADE 4.75 14-22 15/07A	4.75	EUR	1,730,000	251,289,769	2022/7/15
イタリア	WIND TRE SPA 2.625 17-23 20/01S	2.625	EUR	2,050,000	249,316,235	2023/1/20
	TELECOM ITALIA SPA 5.875 07-23 19/05A	5.875	GBP	1,550,000	247,084,129	2023/5/19
オランダ	GAS NAT FENOSA REGS FL. R 14-XX 30/11A	4.125	EUR	1,800,000	245,538,530	—
イタリア	TELECOM ITALIA SPA 3.625 16-24 19/01A	3.625	EUR	1,730,000	234,353,174	2024/1/19
ルクセンブルク	ALTICE REGS 7.25 14-22 15/05S	7.25	EUR	1,730,000	225,606,491	2022/5/15
	MATTERHORN REGS 3.875 15-18 14/06S	3.875	EUR	1,700,000	225,076,208	2022/5/1
イタリア	INTESA SAN PAOLO 8.375 09-XX 14/10A	8.375	EUR	1,600,000	221,530,858	—
イギリス	TESCO 5.00 06-23 24/03A	5	GBP	1,340,000	217,627,234	2023/3/24
	VIRGIN MEDIA SEC FIN 5.00 17-27 15/04S	5	GBP	1,410,000	207,544,593	2027/4/15
イタリア	UNICREDIT SPA REGS 6.95 12-22 31/10A	6.95	EUR	1,360,000	199,900,076	2022/10/31
ドイツ	UNITYMEDIA GMBH SUB 3.75 15-27 15/01S	3.75	EUR	1,450,000	199,008,613	2027/1/15
オランダ	PETROBRAS INTL FIN 5.875 11-22 07/03A	5.875	EUR	1,340,000	196,426,516	2022/3/7
イタリア	UNICREDIT SPA EMTN FL. R 13-25 28/10A	5.75	EUR	1,430,000	194,795,785	2025/10/28
カナダ	VRX ESCROW 4.50 15-23 15/05S	4.5	EUR	1,490,000	192,024,910	2023/5/15
フランス	ALTICE FRANCE 5.625 14-24 15/05S	5.625	EUR	1,390,000	188,625,424	2024/5/15
	SPCM REGS 2.875 15-23 15/06S	2.875	EUR	1,430,000	188,402,802	2023/6/15
アメリカ	SILGAN HOLDING INC 3.25 17-25 15/03S	3.25	EUR	1,380,000	185,278,780	2025/3/15
フランス	SPIE SA 3.125 17-24 22/03A	3.125	EUR	1,400,000	185,137,044	2024/3/22
	CROWN EURO HOLDINGS 3.375 15-25 15/05S	3.375	EUR	1,360,000	183,213,057	2025/5/15
イタリア	NEXI CAP 4.125 18-23 18/05S	4.125	EUR	1,370,000	179,495,073	2023/11/1
	TELECOM ITALIA 2.50 17-23 19/07A	2.5	EUR	1,340,000	173,495,192	2023/7/19
ドイツ	IHO VERWALTUNGS 3.25 16-23 15/09S	3.25	EUR	1,290,000	172,899,075	2023/9/15
スウェーデン	INTRUM JUSTITIA AB 2.75 17-22 15/07S	2.75	EUR	1,360,000	172,604,312	2022/7/15
日本	SOFTBANK GROUP CORP 5.00 18-28 15/04S	5	EUR	1,310,000	170,826,474	2028/4/15

(注) 通貨欄の表記は以下の通りです。

EUR(ユーロ)、GBP(英ポンド)

■外国為替取引 [N D F]

(2018年10月8日現在)

買建	契約額	売建	契約額	満期日	評価損益	
					日本円	
ブラジルリアル	1,130,807,683.20	ユーロ	241,800,000.00	2018/12/4	2,388,835,497	
ユーロ	6,000,000.00	ブラジルリアル	29,281,728.00	2018/12/4		△ 96,612,760
ユーロ	6,000,000.00	ブラジルリアル	28,282,680.00	2018/12/4		△ 66,515,337
合計						2,225,707,400

< 2. 補足情報 >

「C A マネー プール ファンド (適格機関投資家専用)」の決算日 (2018年2月15日) と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、以下2018年10月9日現在における「C A マネー プール ファンド (適格機関投資家専用)」の補足情報を掲載しております。

■ 主要な売買銘柄 (2018年2月16日から2018年10月9日まで)

公社債

買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
			千円				千円
平成26年度第1回福岡市公募公債(5年)		300,702		_____		_____	
平成26年度第2回千葉県公募公債		150,346					

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■ 組入資産の明細 (2018年10月9日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

区 分	2018 年 10 月 9 日 現 在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
地 方 債 証 券	千円 450,000	千円 450,577	% 59.2	% —	% —	% —	% 59.2
合 計	450,000	450,577	59.2	—	—	—	59.2

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 一印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 個別銘柄開示

国内 (邦貨建) 公社債

種 類	銘	柄	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地 方 債 証 券	平成26年度第1回福岡市公募公債(5年)		% 0.209	千円 300,000	千円 300,402	2019/6/26
	平成26年度第2回千葉県公募公債		0.209	150,000	150,175	2019/5/24
合 計				450,000	450,577	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

運用報告書

《第11期》

決算日：2018年2月15日

（計算期間：2017年2月16日～2018年2月15日）

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
主要運用対象	本邦通貨表示の短期公社債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入率 比	純資産額 総
	基	準	額		
	円	円	%	%	百万円
7期（2014年2月17日）	10,076	0	0.0	79.5	3,458
8期（2015年2月16日）	10,077	0	0.0	79.2	5,683
9期（2016年2月15日）	10,077	0	0.0	66.6	4,511
10期（2017年2月15日）	10,067	0	△0.1	63.6	791
11期（2018年2月15日）	10,064	0	△0.0	65.3	770

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率
		騰 落	率	
(期 首) 2017年 2月15日	円 10,067		% —	% 63.6
2月末	10,067		0.0	63.6
3月末	10,066		△0.0	63.0
4月末	10,066		△0.0	63.2
5月末	10,065		△0.0	63.3
6月末	10,065		△0.0	64.0
7月末	10,064		△0.0	63.9
8月末	10,064		△0.0	63.6
9月末	10,063		△0.0	63.5
10月末	10,063		△0.0	62.4
11月末	10,062		△0.0	62.6
12月末	10,062		△0.0	64.0
2018年 1月末	10,063		△0.0	65.4
(期 末) 2018年 2月15日	10,064		△0.0	65.3

(注) 騰落率は期首比です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第11期 (2017年 2月16日 ～2018年 2月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	1円	0.011%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(1)	(0.009)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.002)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.012	

期中の平均基準価額は10,064円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

■期中の売買及び取引の状況（2017年2月16日から2018年2月15日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	203,864	—
	特殊債証券	305,727	(500,000)

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。
 (注2) 単位未満は切捨てです。
 (注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■主要な売買銘柄（2017年2月16日から2018年2月15日まで）

公社債

買付銘柄	金額	売付銘柄	金額
	千円		千円
第30回公営企業債券	305,727	—	—
平成20年度第4回北海道公募公債	203,864	—	—

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。
 (注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2017年2月16日から2018年2月15日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2018年2月15日現在）

公社債

(A) 公社債種類別

国内（邦貨建）公社債

区分	当			期 末				
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	200,000	201,398	26.1	—	—	—	26.1	
特殊債証券 (除く金融債)	300,000	302,181	39.2	—	—	—	39.2	
合計	500,000	503,579	65.3	—	—	—	65.3	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注2) 単位未満は切捨てです。
 (注3) —印は組入れなしです。
 (注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 公社債銘柄別

国内（邦貨建）公社債

種類	銘柄	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
地方債証券	平成20年度第4回北海道公募公債	1.96	200,000	201,398	2018/6/27
特殊債証券(除く金融債)	第30回公営企業債券	1.97	300,000	302,181	2018/6/20
合計			500,000	503,579	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2018年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	503,579	65.3
コール・ローン等、その他	267,324	34.7
投資信託財産総額	770,903	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2018年2月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	770,903,218円
コール・ローン等	264,865,654
公社債(評価額)	503,579,000
未 収 利 息	2,458,564
(B) 負 債	86,382
未 払 信 託 報 酬	85,729
未 払 利 息	653
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	770,816,836
元 本	765,948,597
次 期 繰 越 損 益 金	4,868,239
(D) 受 益 権 総 口 数	765,948,597口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,064円

(注記事項)

期首元本額	785,904,214円
期中追加設定元本額	34,301,587円
期中一部解約元本額	54,257,204円

■損益の状況

当期 自2017年2月16日 至2018年2月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	8,921,262円
受 取 利 息	9,175,922
支 払 利 息	△ 254,660
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 9,061,326
売 買 益	251,553
売 買 損	△ 9,312,879
(C) 信 託 報 酬 等	△ 91,386
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 231,450
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 505,229
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,604,918
(配 当 等 相 当 額)	(4,342,285)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,262,633)
(G) 計 (D+E+F)	4,868,239
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	4,868,239
追 加 信 託 差 損 益 金	5,604,918
(配 当 等 相 当 額)	(4,342,285)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,262,633)
分 配 準 備 積 立 金	12,952,988
繰 越 損 益 金	△13,689,667

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。